

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第一次整備提案書



### ※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

整備提案名 (25字以内)	「永谷ふるさと村」の新設
提案グループ名 (25字以内)	「永谷ふるさと村」設立準備委員会 (永谷地区各連合町内会、NPO法人港南歴史協議会との協力構成)
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	○連合町内会有志は当該地域内への周知、各種団体や学校との連携調整を行う。また、地域内の運営及び活性化のために、活動している。 ○港南歴史協議会は、その実績から、歴史的事項の情報や資料提供を行う。また、区内の歴史調査、研究、報告、報告物の発刊、講演会、学校への教育協力等多岐にわたる活動をしている。
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	港南区下永谷一丁目 ※位置図及び現況写真(各A4判1ページ)を添付してください。
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	昔の「永谷村」と言われる地域を「永谷ふるさと村」と名付け、「光照院明遍寺」の跡地に拠点を整備し、地域の住民に街の生い立ちを知ってもらう。また、地域を知る勉学の場として学校の授業にも活用してもらうと共に、後世に長く保存し、地域の人々が誇れる場所を作る ① 歴史物保存エリア、知るエリア、勉学エリアと三分化する。 ② 「保存エリア」は、行き場を失った石像物等を安置し由来を説明表示する。 ③ 「知るエリア」は、地域の大きな地図を設置し、歴史遺産のあった場所を示す。また、その場所にも説明標識を立てる。 ④ 「勉学エリア」は、東屋等を建て、長椅子を置き、古写真を展示して、子供住民等が街の生い立ちについて学べる場所を作る。 整備費用の概算額：約 500 万円 ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。(記入上の注意③)
整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)	① この地域には「殿屋敷遺跡」「そとごう遺跡」「おばこだい遺跡」「角田遺跡」等々に先人が1000年以上前から居住した記録がある。しかし記録があるのみでその痕跡は近年の住宅開発により、全く消失している。 ② 行き場を失った歴史遺産(石造物等)が多数ある。 ③ 天龍山栄林院「光安寺」より、旧「光照院明遍寺」跡地(現在は更地)の公的利用提供を望んでいる。又、この場所からは、見張り場所とし付近の古戦場跡を眺望できるが、現在は開放されていないので、一般の人は立ち入れない。 ④ 地域内学校(特に小学校)で街の生い立ちを知る勉学で、その資料が乏しく先生方が困っている。 ⑤ 新住民が多く街の生い立ちを知らない。住んでいる場所を誇れる場所と思っていない。地域の人の輪が出来ない。家の中に籠っている人が多い。-----災害の時にはとまどう人が多く出ることが想定される。 ⑥ 整備については、地域住民、企業、学校等の協力が得られる。特に下永谷連合町内会は総意として了解がえられている。また、歴史的専門事項については、港南歴史協議会が進める。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>① 昔の様子、街の成り立ちを知ること、住んでいる地域に、愛着がわき、永谷を「ふるさと」と認識してもらうことができる。          ② 昔の様子を伝える「語り部」や、各種イベント(昔遊び、盆踊り、昔遊び)を通じて多世代間の交流が生まれる。          ③ 学校の先生が、郷土史を教える時の実習の場とすることができる。          ④ 歴史遺産(石像物等)の永久保存・展示により、消失を防ぐことが出来、地域の多くの人々が気軽に訪れ、街の生い立ちを知ることが出来る。          ⑤ 先生方の教材研究の場として利用できる。          ⑥ 高齢者の外出の機会を作ることにもなり、昔を忍ぶことが出来、地域住民との相互語らいの場ができる。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>① 連合町内会会員と港南歴史協議会会員とで構成する「管理運営組織」を組織する。運営費用は会費、助成金、寄付金等で賄う。          ② 常時管理人を配置し、来場者に説明できるようにする。(交代で)          ③ 地域住民が共同で整備・運営することで、相互理解を深めることが出来る。          ④ 小学校や中学校と連携し、学校等の勉学の場として利用する。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ          ○提案を実現するために活用する地域の資源          注4)          ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>① 使用土地は、光安寺より提供していただく。(無償で)          ② 整備については、地域内工務店に依頼して安価で出来ることが可能である。          ③ 地域地図、案内標識の絵、等は近隣中学校の皆さんにお願いし制作する。これらのデザイン等は近隣住民、学校関係者に募集する。          ④ 土地基盤の整備で、除草、植栽等できる項目は自分たちで実施する。          ⑤ 協力すればできることは積極的に協力する。この点については随時検討会を開き、整備に多くの人々が係られるように計画する。          ⑥ 永谷地域は東海道が整備される以前より港南の玄関口と言われた場所で、港南区の他の地域よりは歴史のある地域である。          ⑦ 永谷に昔から住んで、当時の様子を伝える人が多くいる。          ⑧ 地域の歴史遺産を活用した交流の場とすることが出来る。若年者、老人等世代間を超えた交流の場となる。          ⑨ 「永谷ふるさと村」を整備することで、昔の様子、生い立ちを後世に伝え保存することができる。          ⑩ 整備の場所は、昭和30年以前、「富士山」「東海道線」が見えた。また付近一帯は、水田のみであった。(古戦場跡)          ⑪ 住民の知恵と、専門家の知識を集めた街づくり計画である。</p>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
天龍山栄林院「光安寺」長谷川昌史住職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街の発展の為に自由に使用してください。</li> <li>・いつでも承認します。</li> </ul>

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

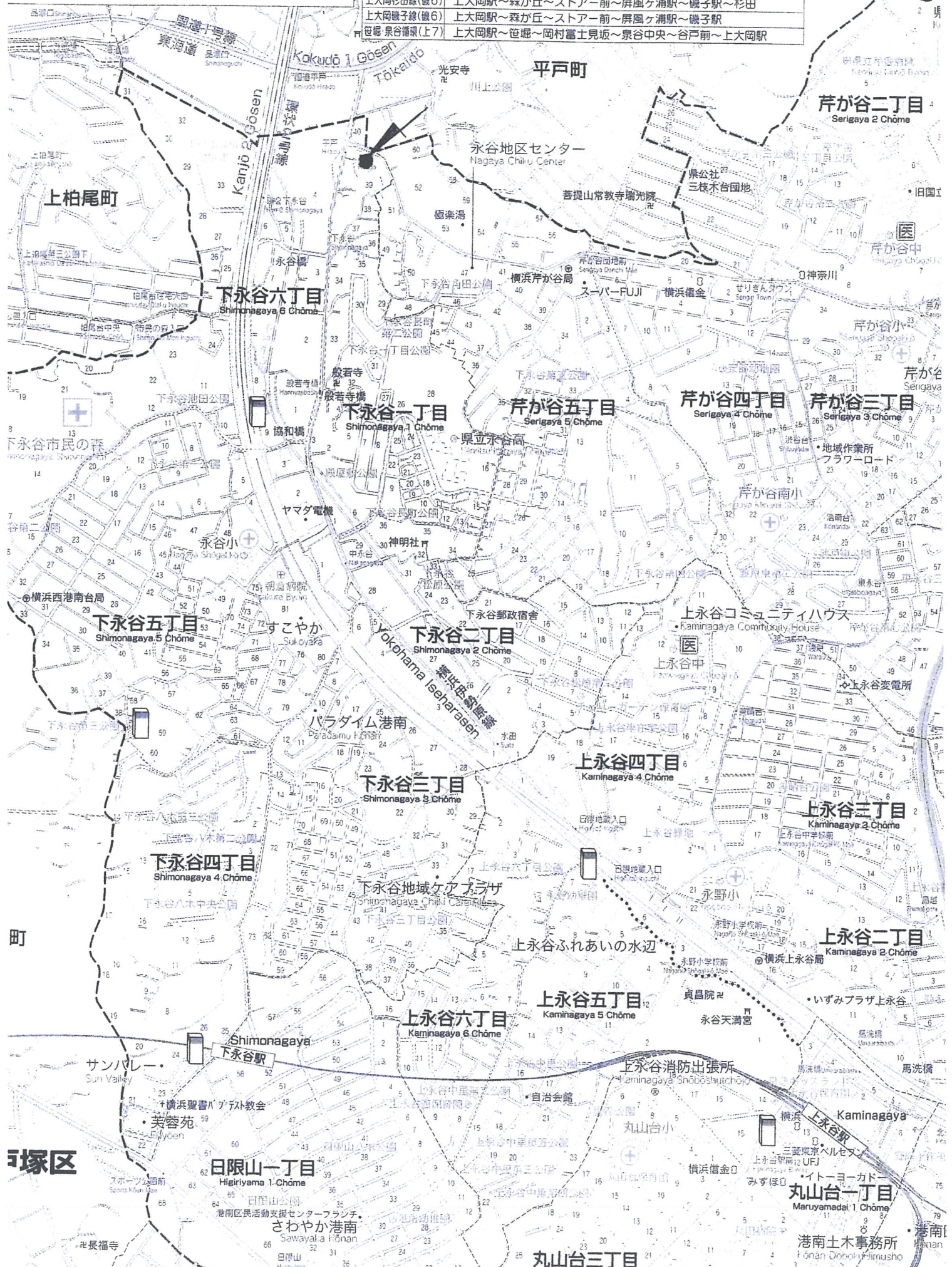
記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報に含まれていません

3) 南北距離 6.60km

4) 最高地 港南台八丁目 (海拔129.1m)

汐見台循環線(上3)	上大岡駅~鹿島神社~笹堤~上大岡駅
森が丘循環線(上2)	上大岡駅~鹿島神社~森が丘~東ノ辻~上大岡駅
南高校線(上1)	上大岡駅~大久保町~桜台~南高校前
上大岡杉田線(上5)	上大岡駅~森が丘~ストア~前~屏風ヶ浦駅~杉田
上大岡杉田線(上6)	上大岡駅~森が丘~ストア~前~屏風ヶ浦駅~磯子駅~杉田
上大岡磯子線(上7)	上大岡駅~森が丘~ストア~前~屏風ヶ浦駅~磯子駅
笹堤 泉谷循環線(上7)	上大岡駅~笹堤~岡村富士見坂~泉谷中央~谷戸前~上大岡駅





道路より入口階段



敷地南側より北方面



敷地下部より望む



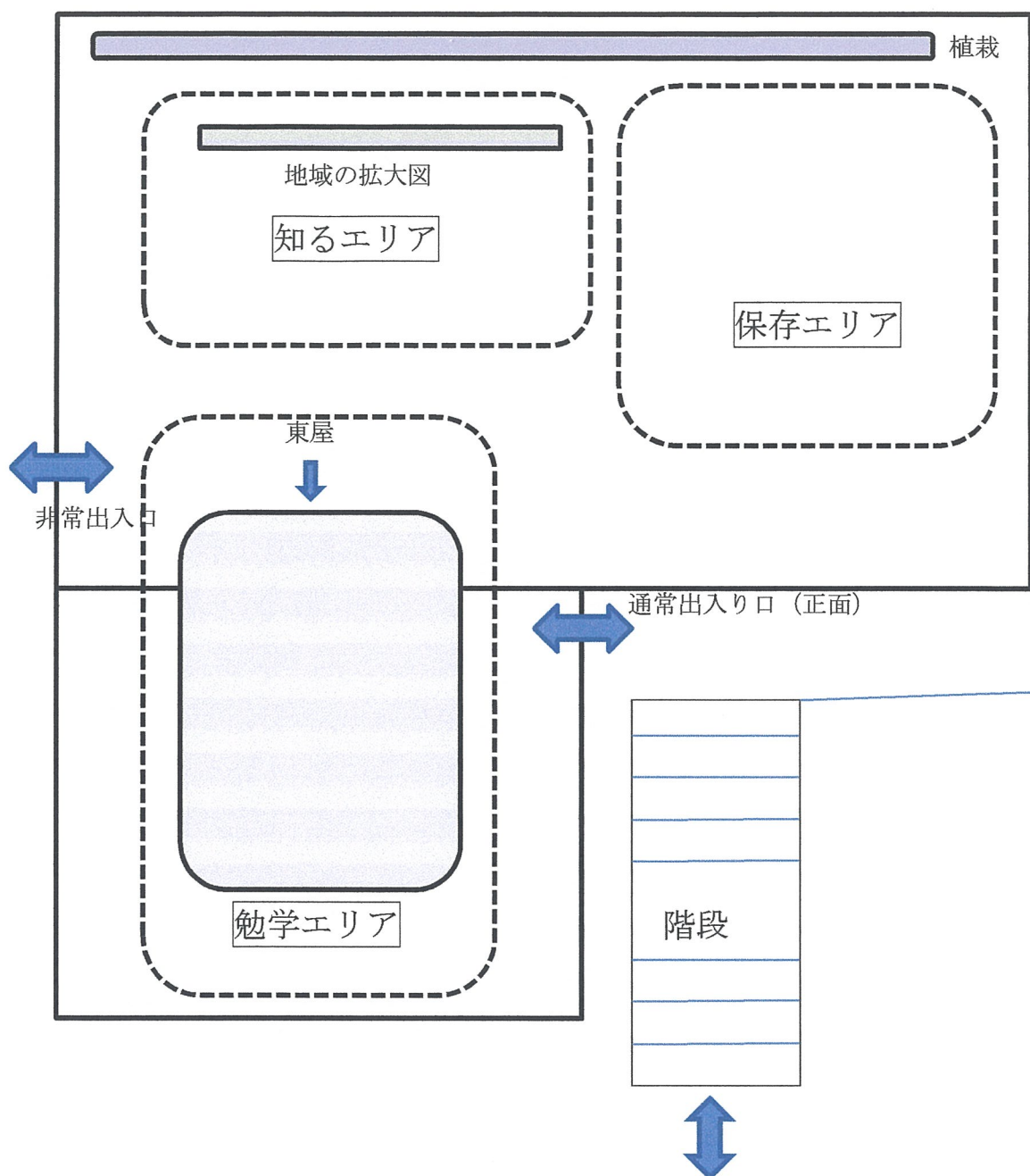
敷地西側より東方面



行き場を失った石像物群

「永谷ふるさと村」建設予定地及び石像物

## 概略構想図



- 外周は防護柵をしてその内側の民家側には目隠し植樹（ベにかなめもち等）する。
- 防護柵設置について「勉強エリア」の崖側二方向については、その眺望が失われないように配慮する。
- 敷地内の歩行部分は、荒木田舗装にする。
- 東屋には長椅子を置く。
- 出入りは、常時正面からとする。
- 「知るエリア」階下の元駐車場は、倉庫として利用する。
- 敷地面積＝約600㎡

